

# 諏訪の景気動向

平成30年11月

(平成30年10月末 D・I調査)

平成30年11月30日  
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

## 諏訪地方の景気動向（平成30年10月末調査）

「平成30年10月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 169 社のご協力を得て行った平成30年10月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは2.9となった。前回調査時(平成30年7月末、以下同)の13.0より10.1ポイント悪化した。製造業の業況判断DIは0.9で、前回の5.8から悪化し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも7.4で、前回の31.2から悪化した。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が1.8(前回5.8)と悪化し、非製造業も季節要因などで△16.7(前回10.4)と悪化し、回答全社では△4.1(前回7.1)となった。今回は、経営上の課題で労働力確保とともに、人件費を挙げる企業が目立った。

諏訪地方の10月は、初旬に台風24号が茅野、原、富士見方面を中心に、土石流や河川の氾濫、広域停電を引き起こし、稼働停止を余儀なくされた企業もあった。国内では、米国の金利上昇や中国経済の減速などで株価が乱高下し、月間の振れ幅は2,000円を超えた。また、米国のイラン制裁などの影響で原油が高騰し、県内のガソリン価格は約4年ぶりにレギュラーが1ℓ160円超となった。さらに、油圧機器メーカーKYBの検査データ改ざんが諏訪地方の施設にもおよぶなど不安材料が多く、当地の景況感は急激な落ち込みはないものの、一時よりやや減速感が出ている。

製造業の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、前回の12.4から△4.3へ悪化し、外注発注量DIが前回の△0.9から△9.6へ悪化幅が拡大した。「前年同期」との比較だと、前は業況判断、受注とも好転企業が40%を超えていたが、今回は20%台となり、横這い企業が増えた。「3ヶ月後」の予想DIは、業況判断が前回の5.8から1.8、受注状況は3.3から△2.6と悪化予想が増加した。収益性も△7.5から△10.4と悪化幅が広がった。前年同期と比べた人件費は、前回(47.9%)より低下したものの、37.4%の企業が上昇している。3ヶ月前との比較でも16.5%(前回31.4%)が上昇した。また、原材料高騰の影響は「多大」と「多少」合わせて前年同期比で84.4%(前回87.6%)、3ヶ月前との比較では75.7%(前回84.1%)となっている。

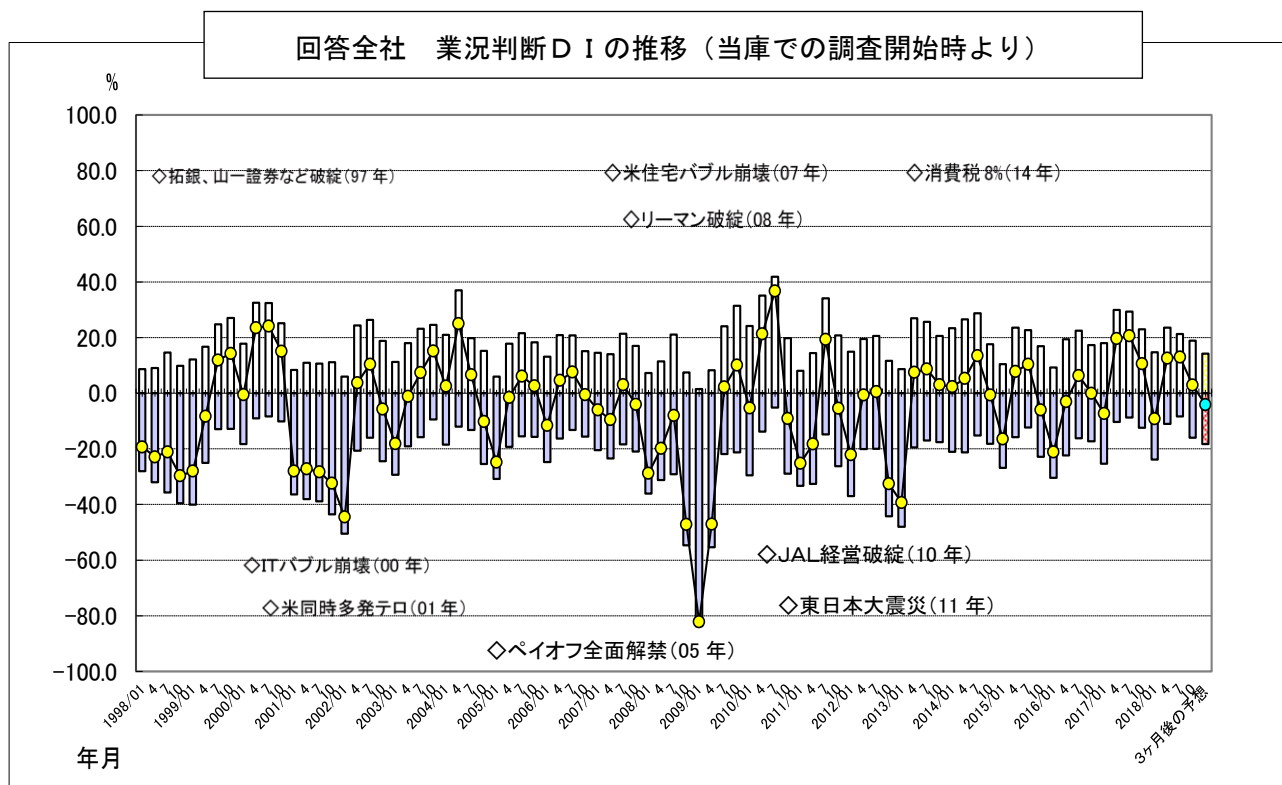
商業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、前回の13.1から0.0へ悪化した。客単価DIは前回の8.7から16.7へ改善したが、来店客数DIは前回の21.7から0.0へ悪化し、収益性DIは前回の21.8から△4.2へ悪化した。「前年同期比」では来店客数DIが前回の△13.0から△4.2へ改善した。「3ヶ月後」の予想は、来店客数DIは△4.1(前回△4.3)とほぼ変わらないが、売上DIが△12.5(前回△8.7)、業況判断DIは△20.8(前回0.0)と悪化予想が多い。人件費は、前年同期比で58.3%(前回47.8%)、3ヶ月前との比較で33.3%(前回34.8%)が上昇している。仕入れ価格の高騰は、前年同期比で83.4%(前回78.2%)、3ヶ月前比較で83.3%(前回69.6%)が「多少」以上の影響を感じている。

観光・サービス業は、「3ヶ月前」と比較した業況判断DIは23.1で、前回の66.7から悪化しているが、「前年同期比較」では、好転企業が多く同DIは46.1(前回16.7)と改善した。宿泊客数DIも「3ヶ月前」との比較では30.7(前回58.4)と悪化しているが、「前年同月比」では30.8(前回0.0)と改善している。台風の被害はあったものの、10月は天候に恵まれ、長雨が続いた前年より総体的に業況は改善した。冬季に向かう「3ヶ月後」の業況判

断予想DIは△23.1(同 41.7)、客単価DIは△15.4(同 33.3)、宿泊客数 DI は△38.4(同 41.7)、売上 DI は△23.1(同 25.0)と悪化予想が多くなっている。人件費は3ヶ月前との比較で23.1%、前年同期比では38.5%が上昇している。原材料高で多大な影響を感じる企業は少なかった。

**建設業**は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは5.9で前回の30.8から悪化した。受注状況DIも前回の15.4から11.7へやや悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは、現在から横這い予想の企業が多い。人件費は前年同期比で23.5%(前回46.2%)、3ヶ月前との比較では17.6%(前回30.8%)が上昇している。諏訪地方の平成30年9月の新設住宅着工戸数は80戸で、前年同月比5戸減少(△5.9%)した。平成30年4～9月の累計着工戸数は530戸で、前年同期比16戸減少(△2.9%)した。10月の市町村からの受注工事は合計93件576百万円で、前年同月比件数は6件増加し、契約金額は255百万円減少した。平成30年4～10月に、地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は79件2,926百万円で、前年同期より件数、金額とも減少した。

**雇用状況**は、平成30年9月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.21ポイント上回り、前月と同率の1.85倍となった。3ヶ月連続で1.7倍以上となった。長野県内は1.70倍、全国は1.64倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が1,587人で前年同月比263人減少(△14.2%)し、新規求職者数は634人で前年同月比95人減少(△13.0%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、生活関連サービス・娯楽業で7.7%、建設業で5.0%増加し、卸・小売業が27.1%減少した。求人要因別は、「継続する人員不足」「欠員補充」「業務量増大」「創業・新分野展開」の順となっている。1件10人以上の人員整理は1件あり、事業主都合による雇用保険資格喪失者は23人で、前年同月より2人増加し、前月より1人減少した



## 業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(169社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業 18.9%、「横這」企業 65.1%、「悪化」企業 16.0%で 2.9 となった。前回より好転企業が減少し、悪化企業が増加した。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは 7.1 で、予想より悪化している。製造業は、「好転」企業が 14.9%から 15.7%へ 0.8%増加したが、「悪化」企業が前回の 9.1%から 14.8%へ 5.7%増加し、DI値は前回の 5.8 から 0.9 へ悪化した。非製造業は、「好転」企業が前回の 37.5%から 25.9%へ減少し、「悪化」企業が 6.3%から 18.5%へ増加した。内訳は観光・サービス業の業況判断DIが 23.1 で前回の 66.7 から 43.6 ポイント悪化し、商業は前回の 13.1 から 0.0 へ悪化した。建設業も 5.9 で前回の 30.8 から 24.9 ポイント悪化した。

産業別業況表

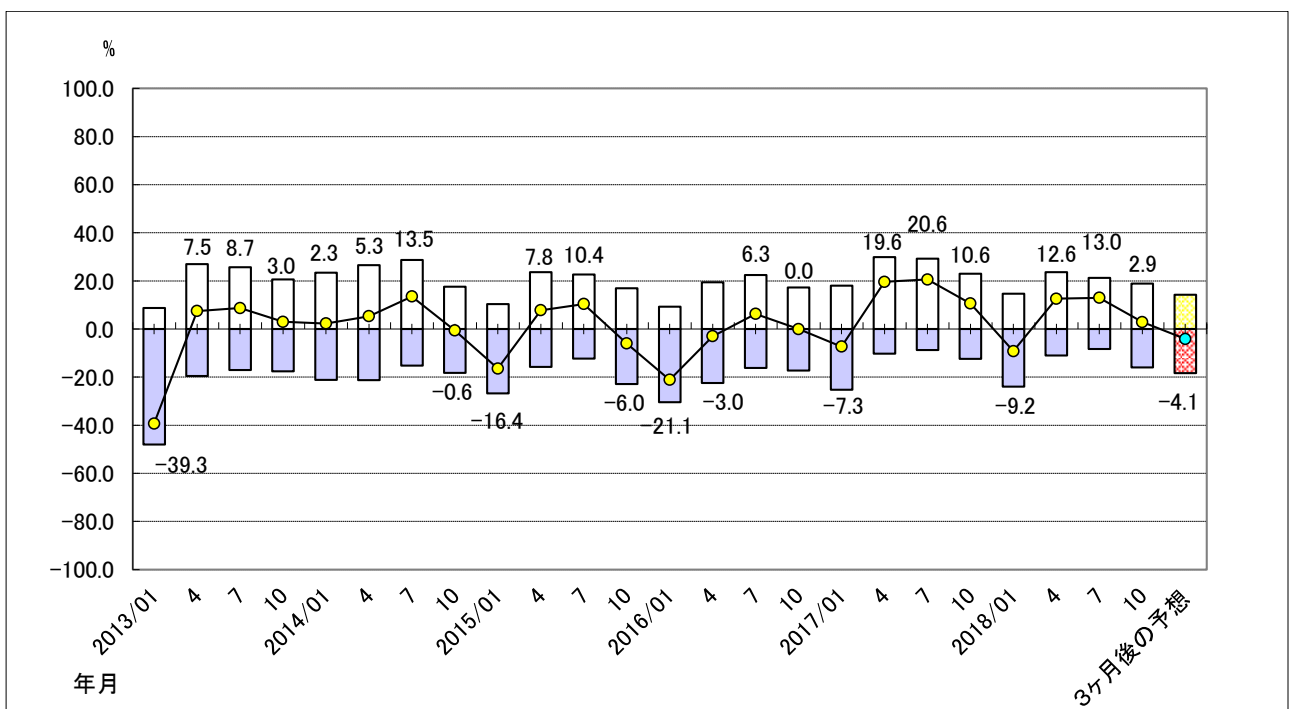
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	169	18.9	65.1	16.0	2.9	169	29.6	49.7	20.7	8.9	169	14.2	67.5	18.3	-4.1
製造業	115	15.7	69.6	14.8	0.9	115	28.7	48.7	22.6	6.1	115	15.7	70.4	13.9	1.8
非製造業	54	25.9	55.6	18.5	7.4	54	31.5	51.9	16.7	14.8	54	11.1	61.1	27.8	-16.7
商業	24	25.0	50.0	25.0	0.0	24	33.3	41.7	25.0	8.3	24	16.7	45.8	37.5	-20.8
建設業	17	11.8	82.4	5.9	5.9	17	11.8	76.5	11.8	0.0	17	0.0	94.1	5.9	-5.9
観光・サービス	13	46.2	30.8	23.1	23.1	13	53.8	38.5	7.7	46.1	13	15.4	46.2	38.5	-23.1

## 自社業況判断DIの推移

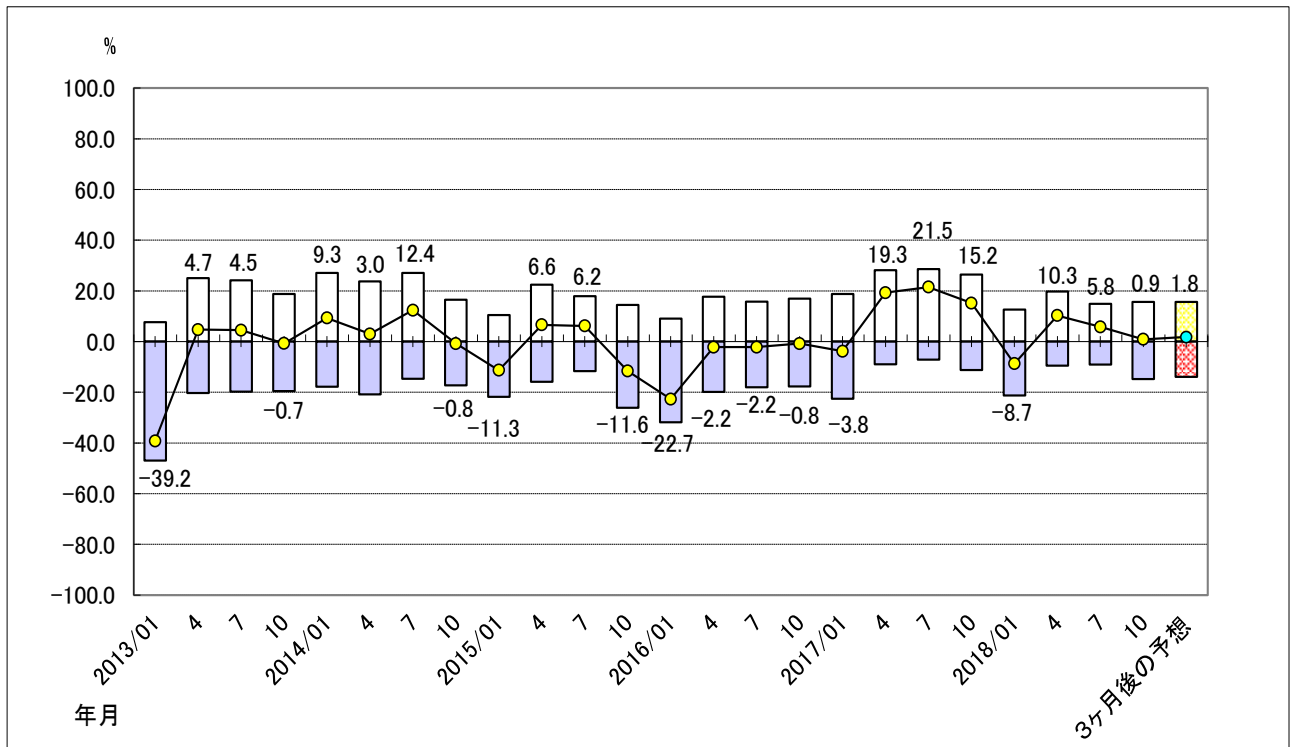
### 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



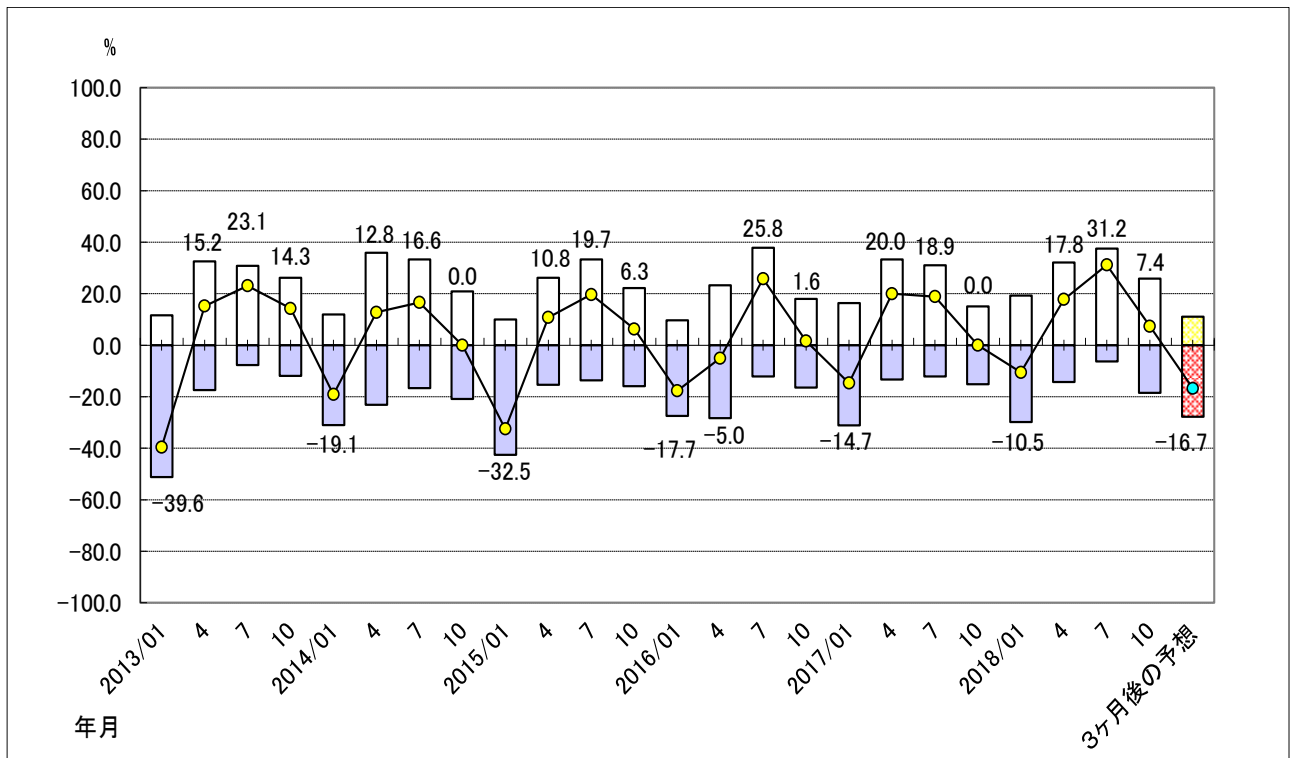
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



# 産業別景気動向

## 1. 製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ0.9で、前回の5.8から悪化した。「前年同期比」は、好転企業が減少し、悪化企業が増加したため、6.1と前回の24.0から17.9ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想は1.8で、前回の5.8から4.0ポイント悪化した。

設備投資DIは、「3ヶ月前」に比べて11.3で前回の9.1より改善した。「前年同期比」は前回の25.7から25.2とほぼ横這いだった。足元では好調でも先行きの不安から、設備投資をためらう企業もあり、「3ヶ月後」の予想DIは10.4で、前回の19.0から悪化した。

収益性DIは、「3ヶ月前比」で△15.7と前回の△2.5から13.2ポイント悪化し、「前年同期比」は前回の4.2から△13.0～17.2ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想も△10.4で、前回の△7.5から悪化している。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「電気機械」が16.0(前回4.6)、「一般機械」は6.6(同3.3)と改善し、「金属製品」が△28.6(同6.6)、「精密機械」が0.0(前回26.6)、「輸送用機械」は△30.0(同0.0)と悪化した。

「前年同期比」では、「電気機械」32.0(同36.3)、「金属製品」△28.6(同26.7)、「輸送用機械」0.0(同30.8)、「精密機械」38.5(同46.6)、「一般機械」△6.7(同13.3)と全て悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「輸送用機械」が10.0(同△7.7)、「一般機械」が3.3(前回△6.7)と改善し、「金属製品」は0.0(同6.6)、「精密機械」は0.0(同20.0)、「電気機械」は△16.0(同9.1)と悪化した。

全国的には、需要のけん引役だったスマホ向けをはじめ半導体関連市場に減速感が見られ、中国向けの工作機械受注額が7ヶ月連続で前年を下回るなど先行き懸念はある。一方で、トヨタとソフトバンクグループなどこれまでは考えられない企業提携の動きもあり、10月に開かれた諏訪圏工業メッセでも多くの来場者があった。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	115	15.7	69.6	14.8	0.9	115	28.7	48.7	22.6	6.1	115	15.7	70.4	13.9	1.8	
規模	1～29人	60	15.0	63.3	21.7	-6.7	60	16.7	55.0	28.3	-11.6	60	11.7	73.3	15.0	-3.3
	30～99人	38	15.8	78.9	5.3	10.5	38	44.7	36.8	18.4	26.3	38	18.4	68.4	13.2	5.2
	100人～	17	17.6	70.6	11.8	5.8	17	35.3	52.9	11.8	23.5	17	23.5	64.7	11.8	11.7
分類	金属製品製造業	14	14.3	42.9	42.9	-28.6	14	21.4	28.6	50.0	-28.6	14	14.3	71.4	14.3	0.0
	一般機械器具製造業	30	13.3	80.0	6.7	6.6	30	13.3	66.7	20.0	-6.7	30	20.0	63.3	16.7	3.3
	電気機械器具製造業	25	24.0	68.0	8.0	16.0	25	48.0	36.0	16.0	32.0	25	8.0	68.0	24.0	-16.0
	輸送用機械器具製造業	10	0.0	70.0	30.0	-30.0	10	20.0	60.0	20.0	0.0	10	30.0	50.0	20.0	10.0
	精密機械器具製造業	13	7.7	84.6	7.7	0.0	13	38.5	61.5	0.0	38.5	13	7.7	84.6	7.7	0.0

## ①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

### ●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ $\Delta 28.6$ で、前回調査時の6.6から悪化し、「前年同期比」も $\Delta 28.6$ (前回26.7)と悪化した。「3ヶ月後」の予想は0.0で前回の6.6から悪化した。電気自動車を含む自動車関連が好調で、売上が月商のピークを更新した企業もあるが、工作機械と半導体関連の中国向け部品が減少している。米中の貿易摩擦による先行き懸念から設備投資を決めかねる企業もある。

### ●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて6.6で、前回の3.3から改善したが、「前年同期比」は $\Delta 6.7$ で、前回の13.3より悪化した。「3ヶ月後」の予想は3.3で、前回の $\Delta 6.7$ より改善した。省力化機械は大口から細かい案件まで幅広い需要があり、受注残も多くマイナス要因は少ない。来年度まで続く受注を確保している企業もあり、当面好調が続くと見られる。自動車関連の受注も旺盛で、堅調に推移している。ただ、他は半導体関連に頭打ち感が見られるなど、機械部品によって格差が出ている。また、人手不足と材料納入遅れに苦慮している企業がある。「下請けが忙しすぎて納期遅れが発生している」という声もある。

### ●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは「3ヶ月前比」で16.0と前回の4.6から改善し、「前年同期比」は32.0で前回の36.3からやや悪化した。「3ヶ月後」の予想は $\Delta 16.0$ で前回の9.1から悪化した。中国の5Gへの移行などで光通信基地局用のセラミックス部品の受注が増加している。ただ、先行きは不透明感がある。液晶パネルが値下がりし、設備投資の抑制が懸念される。車載系部品の受注は堅調に推移している。

### ●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて $\Delta 30.0$ で、前回の0.0から大幅悪化した、「前年同期比」も0.0で、前回の30.8から悪化した。「3ヶ月後」の予想は10.0で、前回の $\Delta 7.7$ から改善した。自動車関連は先進国はEV、インドはガソリン、東南アジアはディーゼルを主体とする動きが強い。受注は、総体的に堅調だが、検査データなどの不正が相次いで発覚したメーカー関連は低調。また、最低賃金引上げ政策や燃料・機械油等の仕入れ価格上昇で収益が圧迫されている企業もある。米国の金利情勢や為替、米中の貿易摩擦などの動きを懸念する企業は多い。

### ●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0(前回26.6)と悪化し、「前年同期比」も38.5(前回46.6)と悪化している。「3ヶ月後」の予想も0.0(前回20.0)と悪化予想が増えている。前年ほどの勢いはないものの、総体的に受注は安定して推移している。レーザー加工機用スキャンレンズ、自動車搭載用センサーレンズ、監視カメラ関連が好調。ただ、消耗品や材料、ガソリンの値上がりが収益面へ影響することが懸念される

## ②規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1~29人」規模は前回の0.0から $\Delta 6.7$ へ悪化し、「30~99人」規

模は前回の 11.9 から 10.5 とやや悪化し、「100 人以上」規模は前回の 14.3 から 5.8 と悪化した。「前年同期比」は「1～29 人」規模が前回の△3.1 から△11.6、「30～99 人」規模は前回の 52.4 から 26.3、「100 人以上」規模は、前回の 64.3 から 23.5 へそれぞれ悪化した。一方、「3ヶ月後」の予想は、「1～29 人」規模が前回の△1.5 から△3.3、「30～99 人」規模は前回の 7.2 から 5.2、「100 人以上」規模は前回の 35.7 から 11.7 へそれぞれ悪化した。

### ③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは「増加」企業 15.7%、「減少」企業 20.0%で△4.3と、前回調査時の 12.4 から悪化し、「前年同期比」も 1.8 で前回の 21.5 から悪化した。また、「3ヶ月後」の予想は前回の 3.3 から△2.6 へ悪化した。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29 人企業」は△10.0 で、前回の 10.8 から悪化した。「30～99 人企業」は 2.6 で、前回の 7.2 から悪化し、「100 人以上企業」も 0.0 で前回の 35.7 から悪化している。「前年同期比」では「1～29 人企業」が△20.0 で前回の△1.6 から悪化し、「30～99 人企業」は 21.0 で前回の 42.9 から悪化し、「100 人以上企業」も 35.3 で前回の 64.3 から悪化した。「3ヶ月後」の予想は「1～29 人企業」が△8.3 で前回の△6.2 からやや悪化し、「30～99 人企業」も 2.6 で前回の 9.6 から悪化し、「100 人以上企業」は 5.8 で前回の 28.6 から悪化予想が増えた。

業種別(主要 5 業種)の「3ヶ月前比」は、「精密機械」が前回の 20.0 から 0.0、「一般機械」は 10.0 から△3.3、「金属製品」が 13.3 から△14.3、「輸送用機械」は 15.4 から△30.0、「電気機械」は 13.6 から 8.0 へそれぞれ悪化した。「前年同期比」では、「輸送用機械」が前回の 38.4 から 10.0、「電気機械」は 36.3 から 28.0、「金属製品」が 26.7 から△35.7、「精密機械」は 33.3 から 15.4、「一般機械」が 6.6 から△16.7 へそれぞれ悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「輸送用機械」は△15.4 から 10.0、「一般機械」は△10.0 から 0.0 へ改善したが、「金属製品」は前回の 13.3 から△7.1、「電気機械」は 13.6 から△28.0、「精密機械」は 20.0 から 0.0 へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

表-3

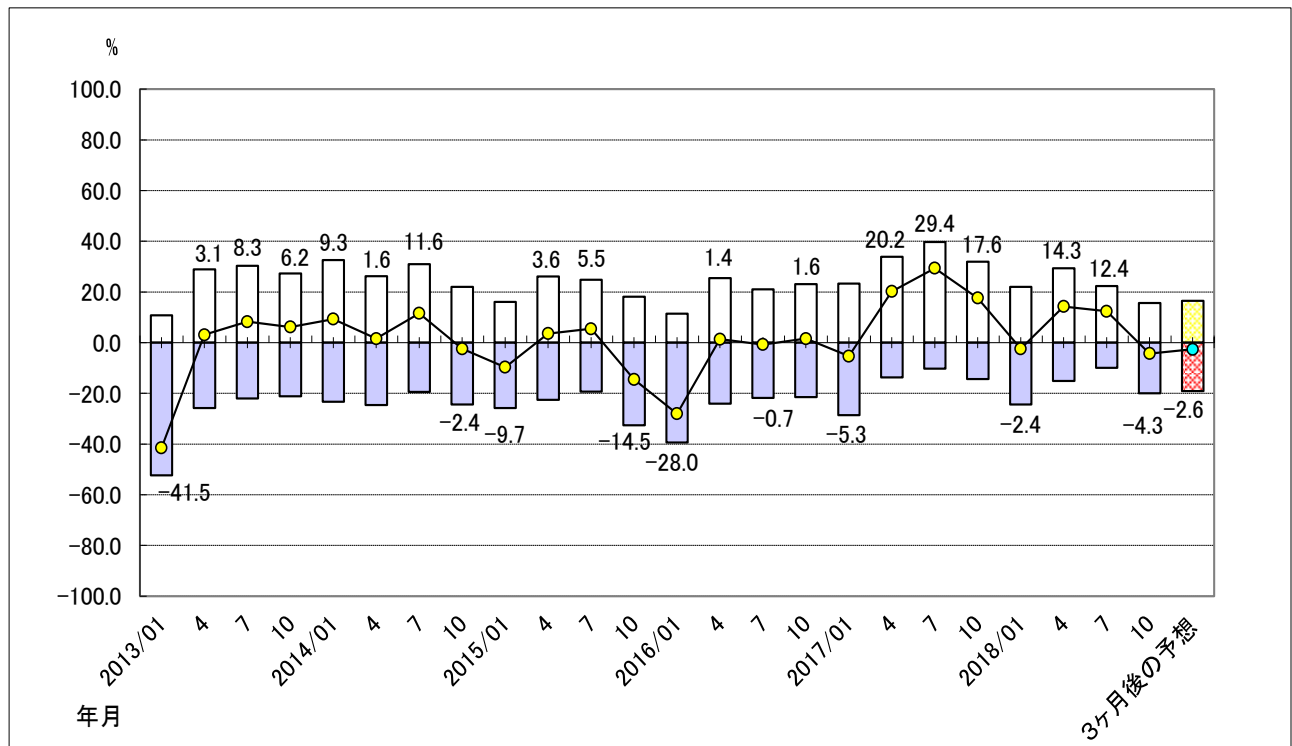
	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	115	15.7	64.3	20.0	-4.3	115	26.1	49.6	24.3	1.8	115	16.5	64.3	19.1	-2.6	
規模	1～29人	60	18.3	53.3	28.3	-10.0	60	15.0	50.0	35.0	-20.0	60	15.0	61.7	23.3	-8.3
	30～99人	38	10.5	81.6	7.9	2.6	38	36.8	47.4	15.8	21.0	38	18.4	65.8	15.8	2.6
	100人～	17	17.6	64.7	17.6	0.0	17	41.2	52.9	5.9	35.3	17	17.6	70.6	11.8	5.8
中分類	金属製品製造業	14	14.3	57.1	28.6	-14.3	14	14.3	35.7	50.0	-35.7	14	14.3	64.3	21.4	-7.1
	一般機械器具製造業	30	16.7	63.3	20.0	-3.3	30	10.0	63.3	26.7	-16.7	30	20.0	60.0	20.0	0.0
	電気機械器具製造業	25	24.0	60.0	16.0	8.0	25	44.0	40.0	16.0	28.0	25	4.0	64.0	32.0	-28.0
	輸送用機械器具製造業	10	0.0	70.0	30.0	-30.0	10	20.0	70.0	10.0	10.0	10	30.0	50.0	20.0	10.0
	精密機械器具製造業	13	7.7	84.6	7.7	0.0	13	30.8	53.8	15.4	15.4	13	15.4	69.2	15.4	0.0



製造業の受注状況DIの推移

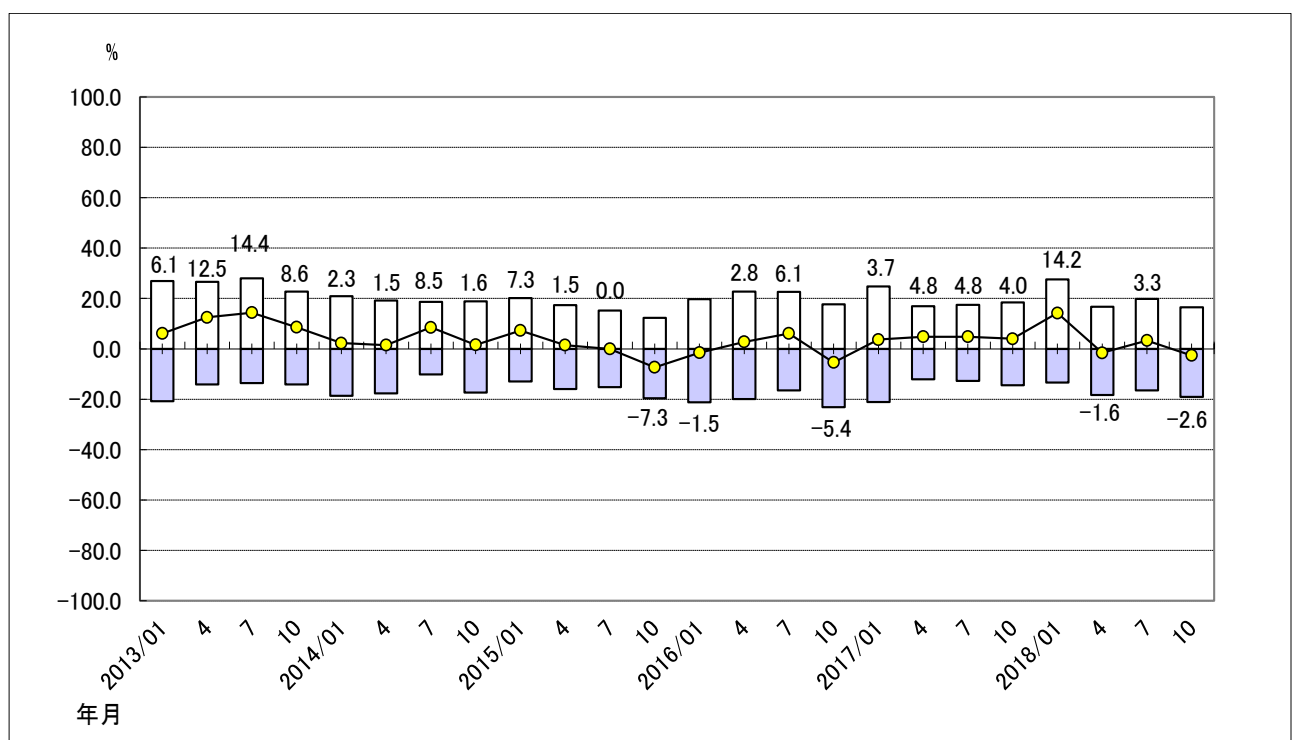
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



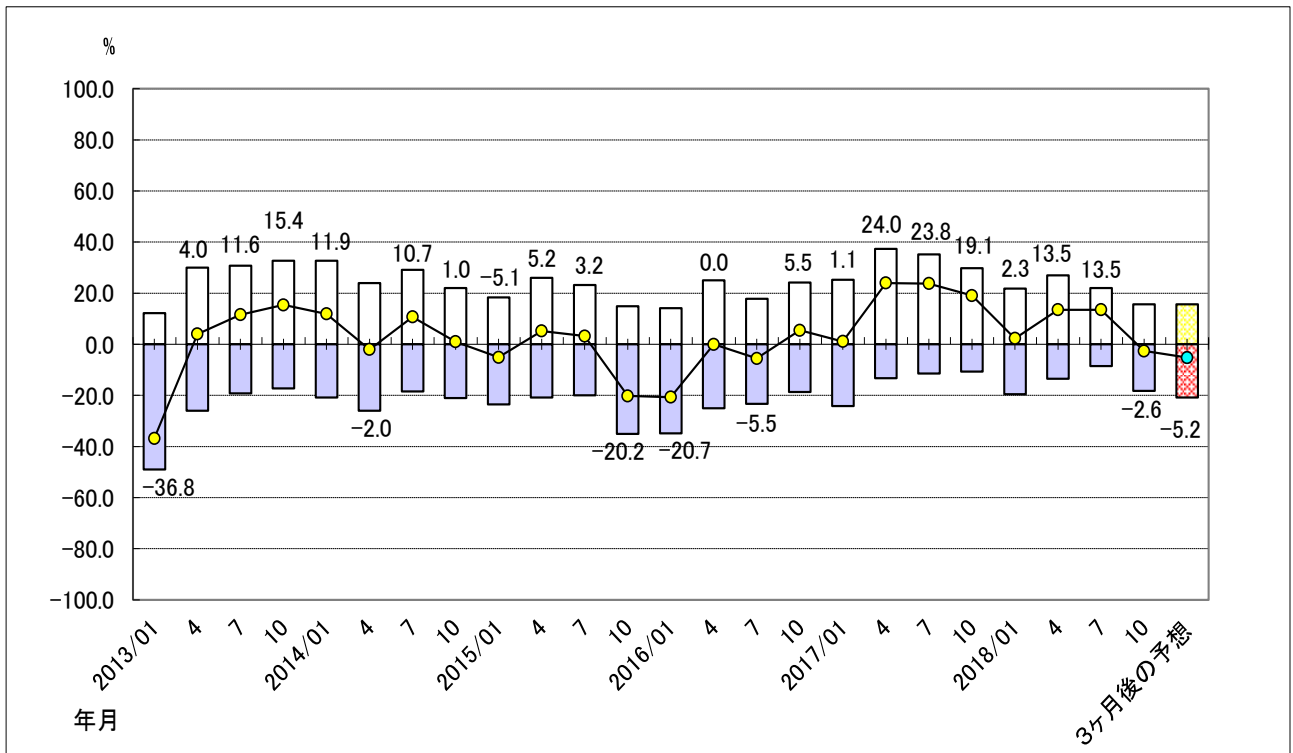
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



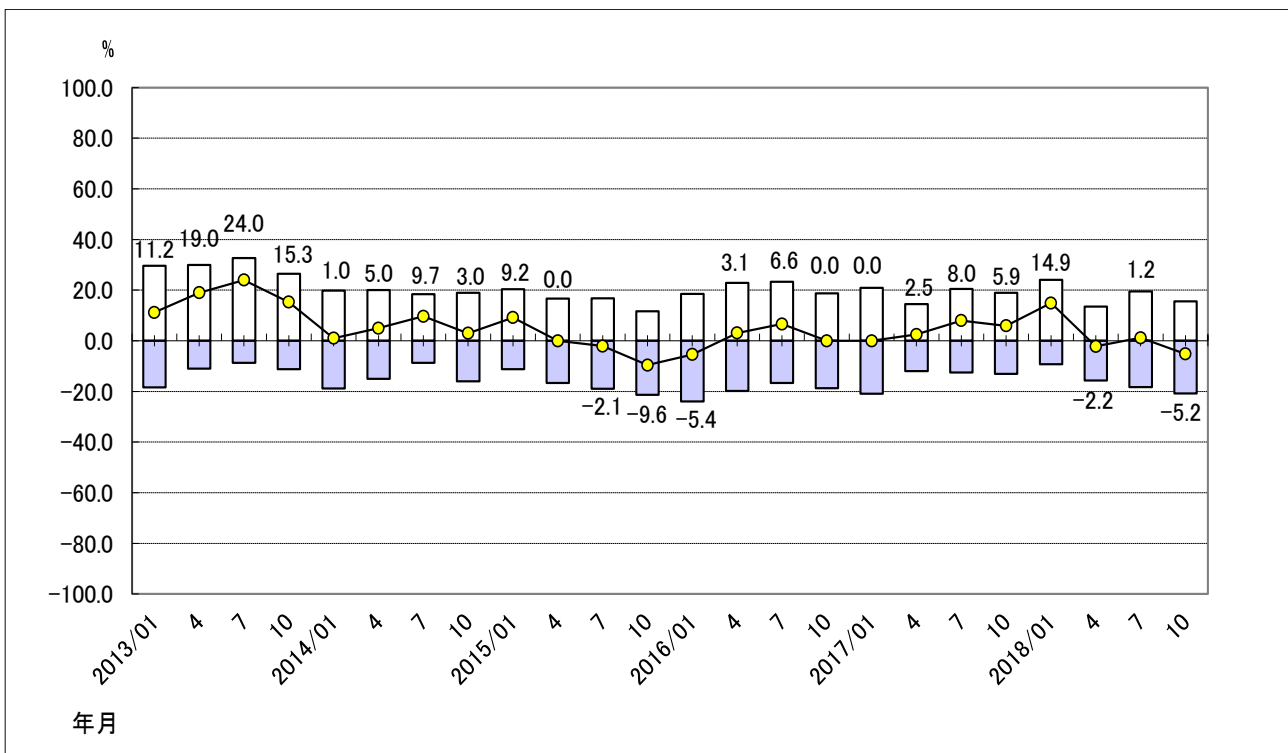
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



## 2. 商業・観光サービス業

### ① 商業

「前年同期比」で業況判断DIは 8.3(前回△8.7)、売上DIは 12.5(同△21.8)、来店客数DIは△4.2(同△13.0)と改善しているが、3ヶ月前との比較では悪化傾向となっている。猛暑関連商品の売上ほどの勢いはないが、10月は天候が安定したことで、小売店や飲食店への客足が伸びた。一方、軽減税率への不安が出始めている。

- 食料品 リンゴは夏の高温や台風被害で高値。燃料高騰の影響で魚の値段も上昇している。
- 自動車 諏訪地方の10月の車庫証明件数(軽自動車除く)が942件で、前年同月比では44件増加(4.9%)した。
- 家電 10月に入りヒーターが売れ始めた。炬燵は低調。4K、8Kテレビは盛り上がり欠ける。
- 書店 コミックや雑誌が好調で、古本にも根強い人気がある。日記帳や小手帳の販売が始まった。ヒット曲が少なくCD売上は低調。
- コンビニ クリスマスケーキの予約状況が好調。業界ではレジ袋の有料化が検討されている。
- タイヤ専門店 スタッドレスタイヤの動きが活発化している。大型車用のタイヤも増加傾向。
- 野菜直売所 マツタケが豊作で来店客が増加。キノコ類に伴う「ついで買い」で売上が伸びた。

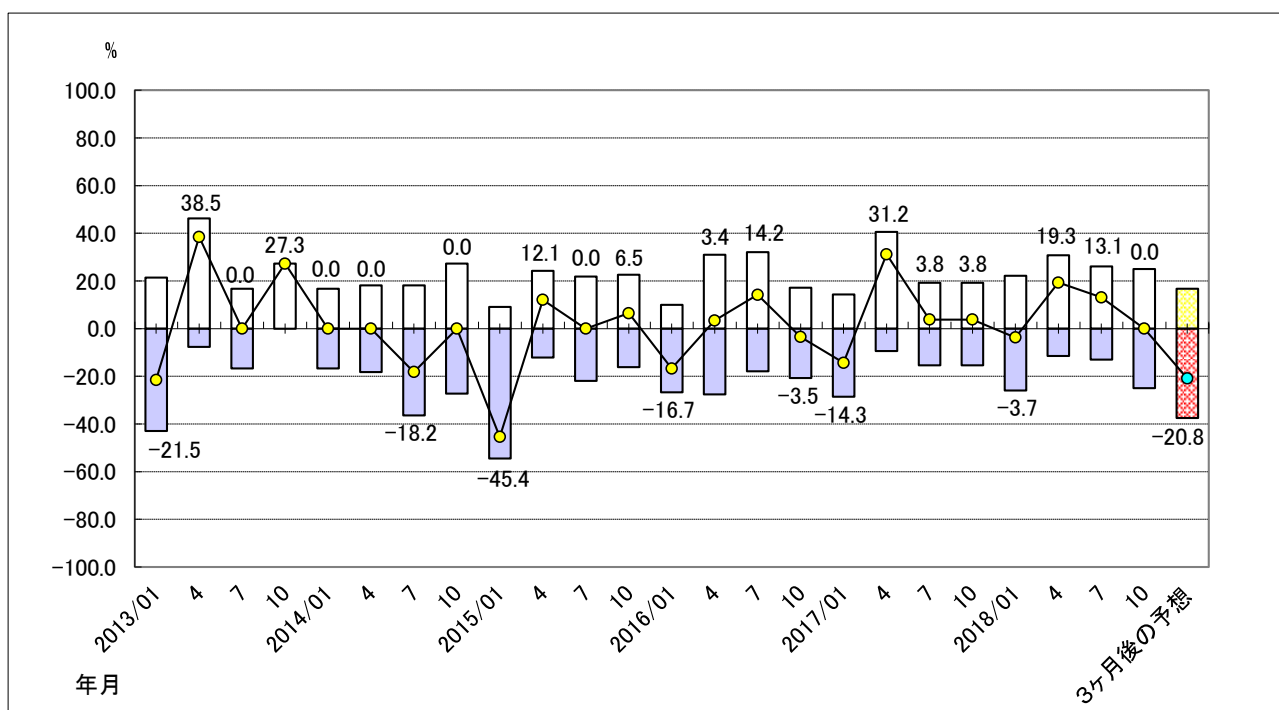
#### 業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	24	25.0	50.0	25.0	0.0	24	33.3	41.7	25.0	8.3	24	16.7	45.8	37.5	-20.8
客単価	24	25.0	66.7	8.3	16.7	24	25.0	58.3	16.7	8.3	24	20.8	70.8	8.3	12.5
来店客数	24	25.0	50.0	25.0	0.0	24	25.0	45.8	29.2	-4.2	24	16.7	62.5	20.8	-4.1

#### ●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



## ② 観光・サービス業

諏訪地方の10月の天候は、月平均気温が平年より1.4度高く、月降水量は平年比44%と少なく、月日照時間が平年よりかなり多かった。台風の影響を受けた地域では、地元観光協会や温泉組合などが顧客輸送や道路の倒木管理、側溝の補修などを行い、被害を最小限に食い止めた。ゴルフ場も大規模な被害を受けたが、スピーディーな復旧で実質の営業停止日数は少なかった。

- 上諏訪温泉 1～4人の個人客が堅調で前年を上回ったが、団体は苦戦。東京・関東方面、県内旅行者が前年を上回っている。諏訪圏工業メッセや諏訪湖マラソンなどのイベント、各種団体の会合開催が増加要因となっている。
- 下諏訪温泉 天候に恵まれ、個人宿泊予約が堅調に推移した。
- 蓼科・白樺湖 紅葉目当ての日帰りバスハイクの来訪が増加した。御射鹿池、白駒池は、台湾を中心としたインバウンド個人客が増加した。景色がSNSなどでの動画で拡散され、問い合わせが増え宣伝になった施設もある。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた10月の参拝者数は約7万1千人で、前年同月比約8千人増加(12.9%)した。

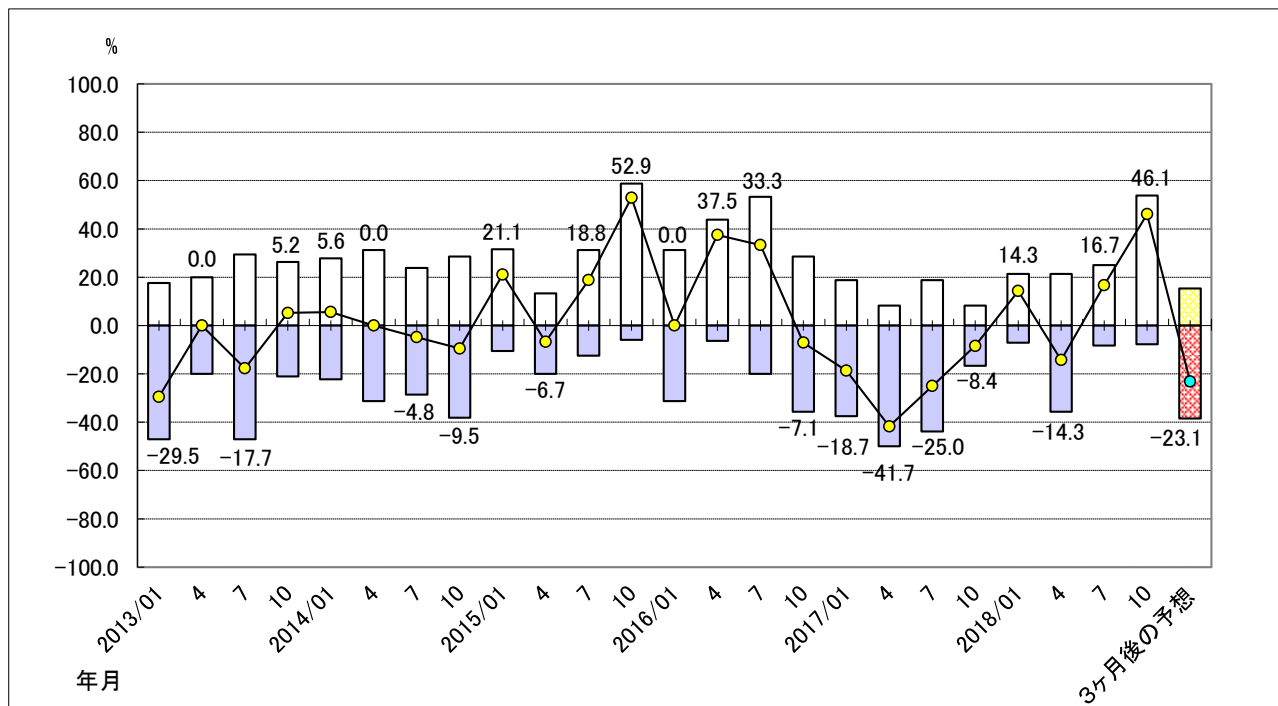
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	13	46.2	30.8	23.1	23.1	13	53.8	38.5	7.7	46.1	13	15.4	46.2	38.5	-23.1
客単価	13	38.5	53.8	7.7	30.8	13	38.5	61.5	0.0	38.5	13	15.4	53.8	30.8	-15.4
宿泊客数	13	61.5	7.7	30.8	30.7	13	46.2	38.5	15.4	30.8	13	15.4	30.8	53.8	-38.4

## ●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



### 3.建設業

「3ヶ月前」と比べて収益性DIは△5.9で前回の0.0から悪化した。外注発注量DIは5.8と前回の0.0から改善した。資金繰りDIは前回の7.7から△5.9へ悪化した。「前年同期比」では、業況判断DIは0.0で前回の7.7から悪化し、売上DIは△23.5で前回の0.0から大幅悪化した。受注状況DIも前回の7.7から△5.9へ悪化した。人手不足が深刻で、人員の問題から積極的な受注ができないケースが見られる。一部地域では、別荘を中心に台風被害による屋根や外壁破損の修繕が多く、特需となった。「3ヶ月後」の予想DIは、受注状況が△5.8(前回0.0)で悪化し、外注発注量も0.0(前回7.7)と悪化している。

#### ●建築工事

諏訪地方の平成30年9月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市23戸、諏訪市18戸、茅野市28戸、諏訪郡11戸の合計80戸だった。長野県全体の9月の新設住宅着工戸数は878戸で、前年同月比18.9%減少した。持家は3ヶ月ぶりに減少し、貸家と分譲は2ヶ月ぶりに減少した。

#### ●公共工事

半期の目標が過ぎ、10月の公共工事は減少した。市町村からの受注工事は、建築工事0件、土木75件499百万円、その他工事18件76百万円だった。

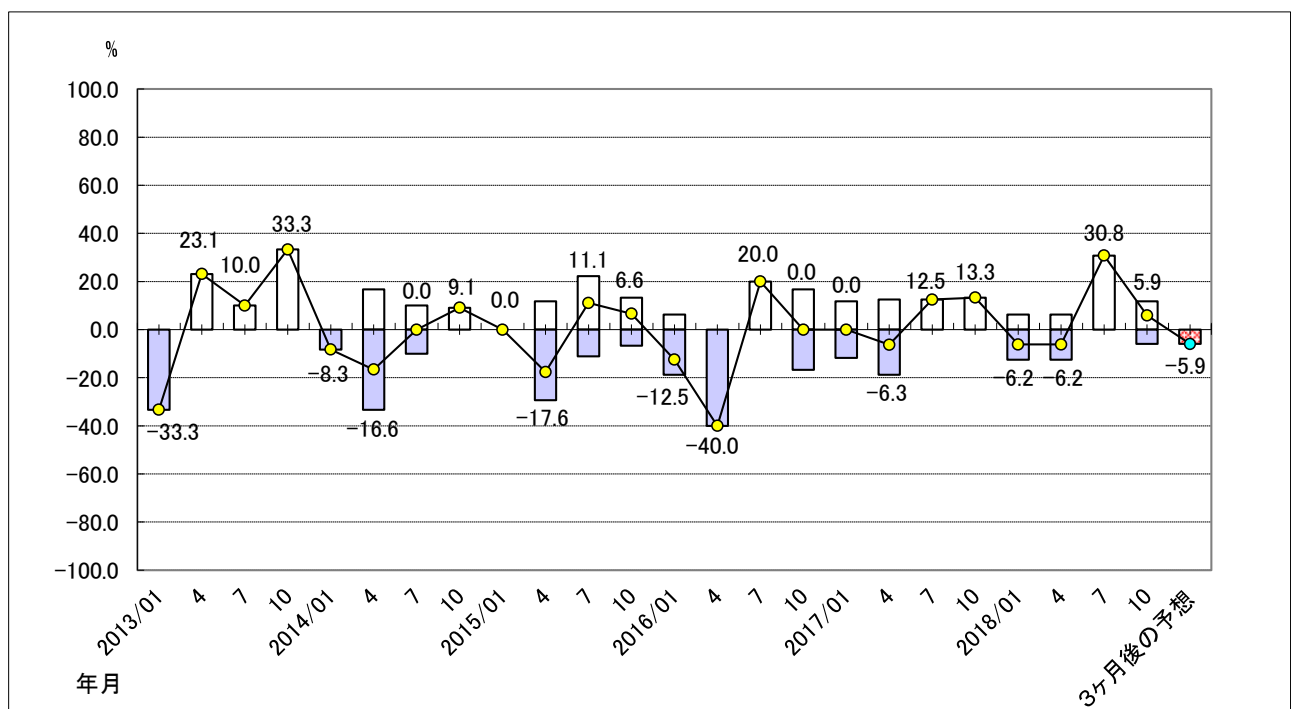
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	17	11.8	82.4	5.9	5.9	17	11.8	76.5	11.8	0.0	17	0.0	94.1	5.9	-5.9
受注状況	17	23.5	64.7	11.8	11.7	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	11.8	70.6	17.6	-5.8
外注発注量	17	17.6	70.6	11.8	5.8	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	11.8	76.5	11.8	0.0

#### ●建設業全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-10



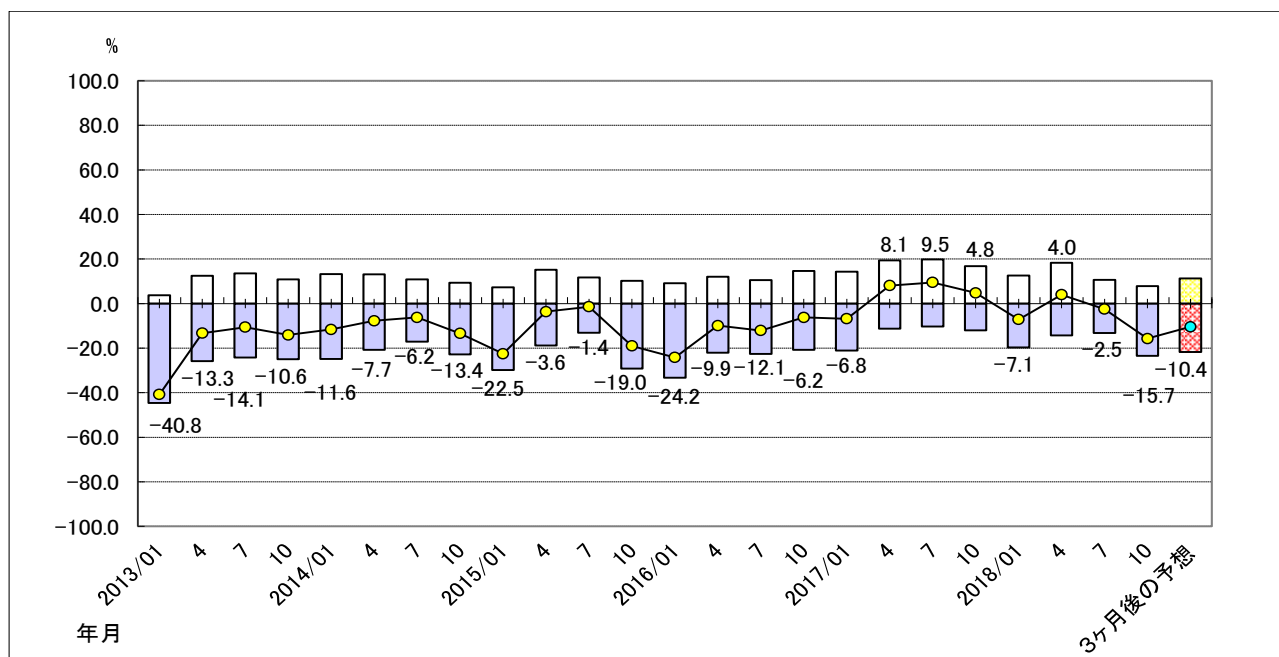
#### 4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 10.7%、「悪化」企業 20.7%で、同DIは△10.0と前回調査時の4.7から悪化した。「前年同期比」では△6.6で、前回の3.6より悪化している。製造業は「3ヶ月前」と比べ△15.7で前回の△2.5より13.2ポイント悪化し、非製造業は1.9で前回の22.9より21.0ポイント悪化している。材料高や人件費増が収益を圧迫している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△10.4で前回の△7.5より悪化し、非製造業は△11.1で前回の8.3から悪化している。回答全社では△10.6で、前回の△3.0より悪化幅が広がった。

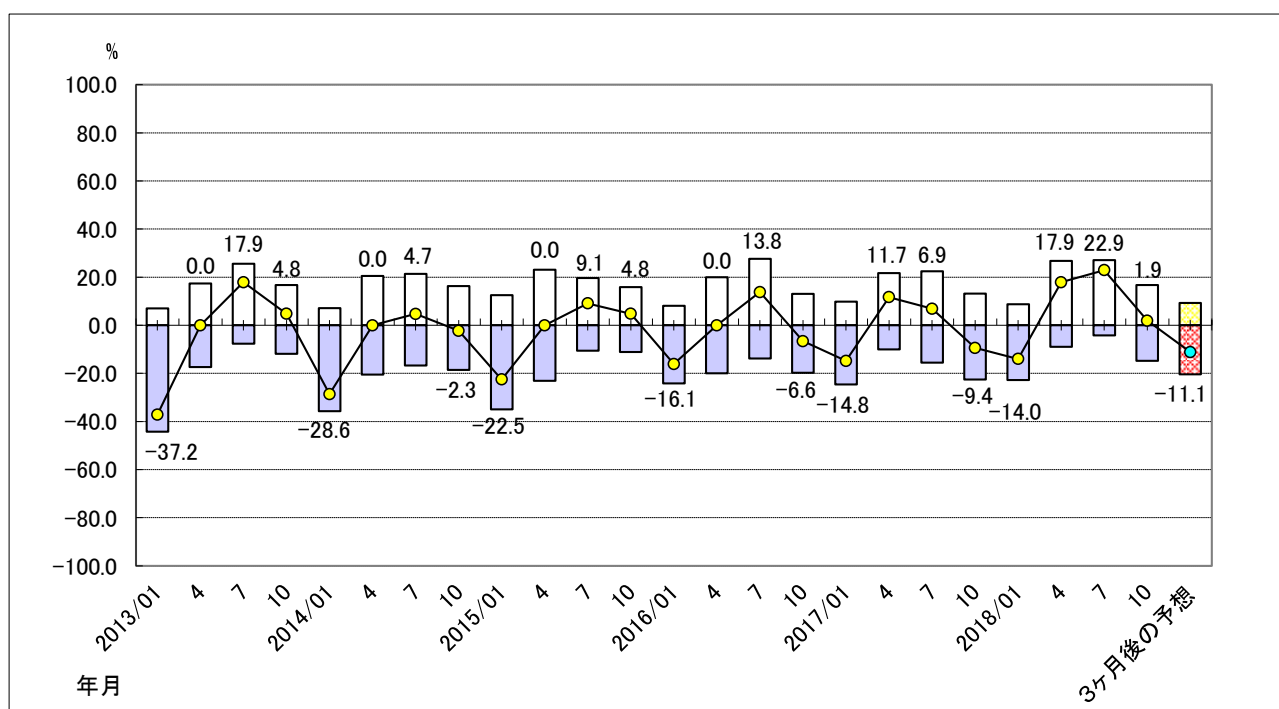
##### ●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



##### ●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



## 5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少②商業は労働力確保と売上減少③建設業は労働力確保、売上減少、競争激化④観光・サービス業は労働力確保と人件費となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	51	34	11	4	2
単価引下げ	20	14	4	1	1
競争激化	33	19	8	4	2
資金繰り	29	21	3	3	2
人件費	40	27	5	3	5
労働力確保	89	59	11	12	7

## 6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比
有効求人倍率【9月】	ハローワーク諏訪	1.85倍	0.21ポイント
手形交換高【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	5,555枚	△307枚
	金額	8,206百万円	△1,096百万円
	うち不渡り 発生状況	枚数	0枚
	金額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		942件	4.9%
新設住宅着工戸数【平成30年4月～9月】(諏訪管内)		530戸	△2.9%

## 7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成30年10月末。
- ② 調査内容 「平成30年10月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査およびヒアリング調査(約130社)。
- ④ 回答企業数 169企業。
- ⑤ 回答率 67.6%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	115	24	17	13	169